

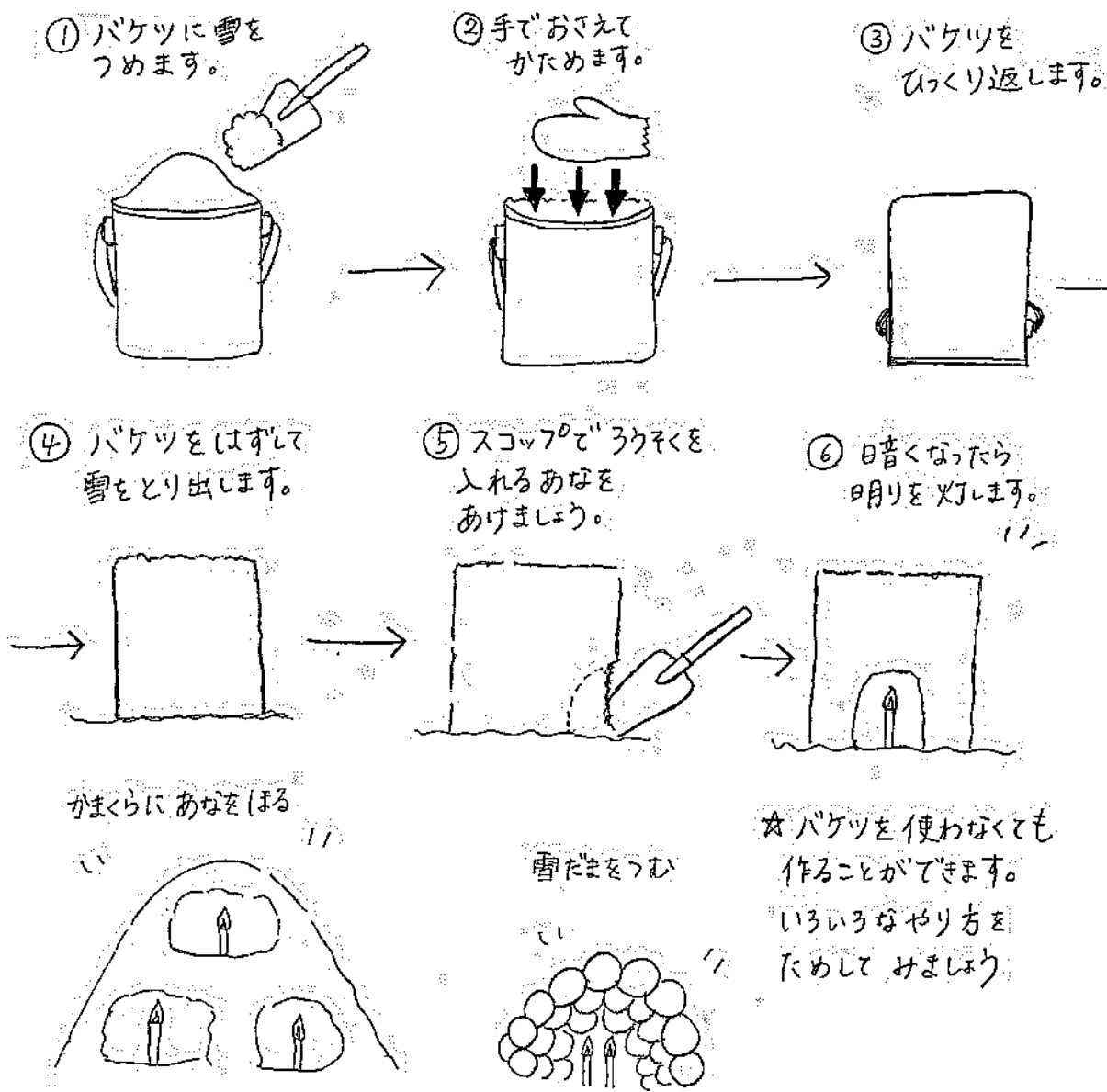
# スノーキャンドル



活動場所	自然の家周辺	自然の家にあるもの	スコップ、バケツ、移植ごて、キャンドル
所要時間	0.5時間～1時間	利用者で用意するもの	キャンドル（持込み可）
人数	1回50人まで	活動時の服装	スキー用手袋、防寒着（スキーウェアが望ましい）、スノーブーツまたは長靴

雪を使って作るキャンドルです。夜、暗くなってから火を灯すと、隙間からこぼれるキャンドルの火は何ともいえない幻想的な雰囲気を作り出します。

## スノーキャンドル



### とくに大切なこと

- ① 屋根の下は上から雪が落ちてくるかもしれないので、屋根の下で活動してはいけません。
- ② 夜になったら、明かりを灯します。外に出るときは足元に気をつけましょ。
- ③ 作ったものは、帰るまでにこわして元のじょうたいにもどします。

## 1. 学習内容

めざすもの（評価）	関連教科	学び（単元）
・友だちと互いに理解し、信頼し、助け合っ てキャンドルを作ることができる。	道徳	「友情、信頼」

## 2. ポイント

### ア) 活動前

- ・活動で使うキャンドルは事前に注文すること。
- ・雪を触るので、毛糸の手袋ではなくスキー用の手袋など防水性のある手袋を着用すること。

### イ) 活動中

- ・大きなスコップを使う際は、周りに気をつけて使うよう指導すること。
- ・屋根の下の活動は禁止。活動場所の安全確認をしっかりと行うこと。
- ・着火ライターはステーションで貸し出し可能。使用後はステーションまで返却すること。
- ・明かりを灯したスノーキャンドルを見に行く際、室内の電気を消すことも可能（必要な場合はステーションまで申し出ること）。

### ウ) 活動後

- ・使用した道具は数を確認し、まとめて返却すること。
- ・作成したものは必ず退所前に壊して元の状態に戻すこと。
- ・大きなろうそくを使用した場合は回収すること。

## 3. 安全対策について

--